



回転ローン資金に関する補足資料

それぞれの質問事項に慎重にお答えくださるようお願いいたします。この書式は専門家に渡され、補助金の申請書ならびにこの補足資料に記載される情報を基にプロジェクトの実施の可能性が評価されます。

1. **プログラムの設置について** クラブや地区は、持続可能な開発プロジェクトに取り組むための手段として、それが現金、家畜、設備のいずれを含むものであっても、独自の回転ローン・プログラムまたはその他の種類のローン(融資)プログラムを設置するよう奨励されています。利率、貸出し額を含め、プロジェクトおよびローンの方針を説明してください。

a) プロジェクトの内容(借り手の数、受益者の選定方法とプロジェクトの運営方法)

--

b) ローンの方針

--

c) 利率

--

d) 貸出額

--

2. **元金としての補助金** 2003年4月現在、補助金資金は、信用グループにつき最高米貨10,000ドルまで回転ローンの元金のために使用でき、1件の補助金で複数の信用グループを支援することができます。ローンを保証し合うために信用グループが活用されています。資金が支給される前にグループが計画案を確定することが重要です。以下に、提案されているそれぞれのグループについての詳細を説明してください。

a) 信用グループの数とグループごとの借り手の数

--

b) グループの構成

--

c) 信用グループへの研修(回転ローン資金の設置を含む補助金プロジェクトは研修を盛り込まなければなりません。職業訓練など、ローン受領者に提供されるカウンセリングや研修支援について説明してください。)

--

3. **協力団体** 協力団体あるいは非政府団体は、小口融資および回転ローン資金を扱っているロータリー・クラブと地区を支援することはできますが、プロジェクトの監督と管理は、クラブあるいは地区が行わなければなりません。ロータリー財団は、協力団体の関与する小口融資や回転ローン資金に関し、それらの団体がロータリー財団の必要条件を満たし、活動にロータリアンを多数関与させることが明確に示されるまでは、補助金の申請を審査の対象としません。協力団体が関与する場合、その団体名を明記し、同じようなプロジェクトの実施経験の有無や、資金運営の内部管理をロータリアンがどのように行うのかを明確にしてください。



回転ローン資金に関する補足資料

協力団体／非政府団体および回転ローン資金プロジェクトの実施の経歴

プロジェクトの運営と資金管理について協力団体／非政府団体に対するロータリアンの関与

4. **銀行口座**この回転ローン資金のために専用のプロジェクト用銀行口座が開設され、ロータリアンがこれらの資金および利子収入の監督、監視にあたりますか。

銀行口座について

5. **プロジェクトの管理運営費** 2003年4月現在、標準的な人道的補助金の方針および指針の下、ロータリー財団の補助金は、ローン資金が自助自立できるようになるまで回転ローン・プロジェクトを支援するための立ち上げ費用として、ロータリー・クラブや地区が使用することができます。プロジェクトを設置、運営するためにローン資金の元金以外に必要な費用にはどのようなものがありますか。

プロジェクトの管理運営費について

6. **利子および手数料の使用**ロータリー財団からの回転ローン資金の元金から発生した利子と手数料収入は、回転ローン・プロジェクトを支援するための管理運営費として使用することができます。本プロジェクトにおいて、利子と手数料はどのように使用されますか。

利子および手数料について

7. **返済予定**ローンの受領者は、どのような方法でローンを返済し、またどのような期間枠で返済するかを説明してください。



回転ローン資金に関する補足資料

8. **資金の保証制度** ロータリー財団は、融資の保証制度に資金を提供することはありません。借り手がローンを返済しない場合、同プログラムではどのように資金を保証することになりますか。

融資の保証について

9. **継続計画** 財団が支給する回転ローン資金から得た元金は、財団への報告が終了した後も回転ローンのために継続して使用されるべきです。資金の管理担当者を明確にし、補助金プロジェクトの最終報告書が提出された後、ローン資金の元金が定められた方針に従って使用され続けるよう資金の移管をどのように文書に記録するかを説明してください。定められた方針に従って回転ローンのためにローン資金の元金を使用され続けるよう、確実に移管手続きを行うことが必要です。

継続性のある計画について

10. **最終的な資金の処理** 2003年4月現在、プロジェクト提唱者であるロータリアンが、回転ローン資金を継続しないことを決定した場合には、資金の元金はロータリー財団に返金されなければなりません。補助金プロジェクトの最終報告書の提出前であるか提出後であるかにかかわらず、回転ローン・プロジェクトを終結する場合に、ローン資金の元金と利子収益の残金をどのように処理するかを説明してください。

資金の処理について

11. **地元の法律** この回転ローン資金プロジェクトは、回転ローン資金の支給および金融機関を規制している地元の法律や規制を遵守していますか。「はい」と回答した場合、申請者は、地元の法律を調査したことを認めることとなります。

地元の法律について



回転ローン資金に関する補足資料

補助金の授与および受諾の条件に関するすべての標準的な方針
がこの同意書に適用されます。下記の署名をもって、上記の回答内容が
正確であることを認めることになります。

実施国協同提唱者

実施国ロータリー・クラブ(地区提唱の場合は、地区番号)	
署名	日付
氏名(活字体で)	
役職 クラブ会長あるいは地区補助金小委員会委員長	

援助国協同提唱者

援助国ロータリー・クラブ(地区提唱の場合は、地区番号)	
署名	日付
氏名(活字体で)	
役職 クラブ会長あるいは地区補助金小委員会委員長	



回転ローン資金信用グループ同意書

記入に関する説明:このページは、信用グループに資金が支給される前に**それぞれの**信用グループにより記入される必要があります。*信用グループとは、融資を保証し合うことに同意した借り手により組織されたグループです(以下の記入欄は入力に応じて広がります)。

1. 信用グループを決定した際の過程を説明してください。

2. 場所

3. 利率、貸出し額、返済計画などを含む、ローンの方針を説明してください。

4. 例えば職業訓練など、ローン受領者に与えられるカウンセリングや研修支援について説明してください。

5. 資金の管理担当者を明確にし、補助金プロジェクトの最終報告書の提出後もローンの回転を維持していくため、ローン資金の元金が定められた方針に従って使用され続けるよう、資金の移管をどのように文書に記録するかを説明してください。

以下に署名することにより、私は、当ロータリー・クラブ／地区が、上記に規定された手続きに従って回転ローン資金を管理し、ロータリー財団の回転ローン資金の方針を遵守することを証します。

代表連絡責任者、実施国協同提唱クラブ

署名

日付

* 補助金が承認される前にこれらの情報がわからない場合は、添付用紙にその理由をご明記ください。それぞれの信用グループの同意書が受理されるまで補助金は支給されないことにご留意ください。